

和泉の里の改修工事が始まりました



和泉の里の屋根改修と外壁塗装の工事が始まりました。一ヵ月半の工期になります。

コロナが少しでも沈静化し、面会の再開時には、新しくなった外壁等を見て頂ければ幸いです。

(記 支援課長 山下祐輔)

苦情・解決について

今月は苦情・解決に関わる事項はございませんでした。今後ともよろしくお願い致します。

(苦情受付担当 山下祐輔)

ご協力ありがとうございました

4月 和泉の里 ご協力

山中尋子
大阪府福祉部障がい福祉室生活
基盤推進課指定・指導グループ
厚生労働省

(順不同・敬称略)



編集後記

今年度より「いずみのひろば」の編集担当になりました坂本里香です。よろしくお願ひ致します。

本年度も引き続きコロナ禍による帰省、面会、外出の制限がある中で、ご利用者やご家族、地域の皆様と施設や結ぶ大切な情報ツールとして「いずみのひろば」がお役に立てればと思います。これからは編集部一同、皆様に細やかな情報提供を行えるよう努めて行きたいと思ひます。1年間「いずみのひろば」ご愛読、よろしくお願ひ致します。

(今月担当 坂本里香)

いずみのひろば



2021年 第319号

発行日 2021年(令和3年)4月28日

発行責任者 施設長 柴沼廣

企画編集 坂本達夫 近藤瑞起 坂本里香 上田真史

社会福祉法人清光会 障害者支援施設 和泉の里

泉佐野市大木2247-1

TEL 072-459-7613 FAX 072-459-7250

【URL】 <http://s-seikoukai.or.jp/izuminosato>

【mail】 izuminosato@nifty.com

いずみのひろば

新年度に臨んで

平素は、和泉の里の運営にご協力いただきありがとうございます。

さて、令和2年度の1年間は、新型コロナウイルスに振り回された1年でした。清光会としてはじめて盆踊り、バザーが中止となりました。また、ご利用者の一泊旅行や日帰り旅行もできませんでした。その中でも一番大変だったことは、帰省がほとんどできなかった事です。我慢の1年間でしたが、無事終えたのは、ご利用者並びにご家族等関係者の皆様のお陰だと感謝しています。

令和3年度は、周知のとおり新型コロナウイルスと共存の年度になります。それに伴い、感染対策はもちろん基本的な対応も含めて次の通り考えています。

- ①ご利用者の基本的人権を尊重し、ICT等も利用しご利用者の意向を最大限つかみ、適切に対応する福祉サービスの提供
 - ②障害者虐待防止(身体拘束等の適正化も含む)を徹底
 - ③自然災害等発生時に適切な対応ができる体制の構築
 - ④外部からのウイルスの感染経路を遮断。かつ、施設での感染症予防の徹底
 - ⑤職員の倫理性を高めるとともに、専門的な知識と技術の研鑽に努め、妥当性のある支援を行います。特に、④に関しては、
 - a. 新型コロナウイルス等の感染症に対して、ハード面、ソフト面で対応の充実を図る。特に、ご利用者の体調の変化に細心の注意を払うとともに、職員自身が感染の媒体にならないように気を付けていく。また、マスクの使用、徹底した手指の消毒、器具の消毒、通風を実施する。
 - b. 方が一、クラスターが発生した時を考えて、清光会新型コロナウイルス感染症マニュアルに基づき特別態勢を施設として構築していく。
 - c. 感染症対策委員会を中心として、感染症の早期対応を行う。
- 以上の計画の元1年間進めていきます。

コロナ禍の中、世間では既存の考え方を捨て、新しい考え方を取り入れ時代にマッチしたもの、進歩しているものもたくさん出てきました。和泉の里においても、帰省も外出もなかなかできない中で何が出来るか、既存の考え方だけでなく、新たなアイデアをすべての職員で出し合い、新たなものを作っていきたいと思っています。そして、ご利用者に少しでもでとは形が違うけど、豊かな生活が提供できる1年にしたいと思っています。なお、現在、管理医と協議の上、いろ花、穂の花へ移動しての日中活動は継続しています。

多難な1年になると思いますが、昨年度同様皆様のご協力よろしくお願ひします。

(記 施設長 柴沼廣)

